

根津小学校 5年 社会「水産業」

授業のねらい

- 「日本の水産業は、これからどのように進めていけばよいのだろうか。」について、I C Tを活用した意見交流を通して考え、自分なりの意見をもてるようにする。

タブレット端末活用の工夫／教育データ活用の工夫

- 前小単元のまとめで、米づくりの課題について教科書やインターネットからの情報を基に調べ、パワーポイントにまとめ、ムーブノートで共有した。
- 各児童がまとめたパワーポイントを共有することで、社会的事象をより多角的にとらえることができたため、本小単元の水産業でもこの経験を活かし、「自分の思いや考えを進んで表現する児童の育成」に迫った。



児童の様子

- 消費者として、水産業を守るために、自分が出来る取り組みは何かという視点で発言していた。



成果

- 自分の根拠を基に話し合うことができた。

課題

- ムーブノートやミライシードは将来において汎用性が低いため、Windows のソフトを活用していきたい。